

1 氷ノ山

ランク: A

生態系区分
山地

区分レベル
大

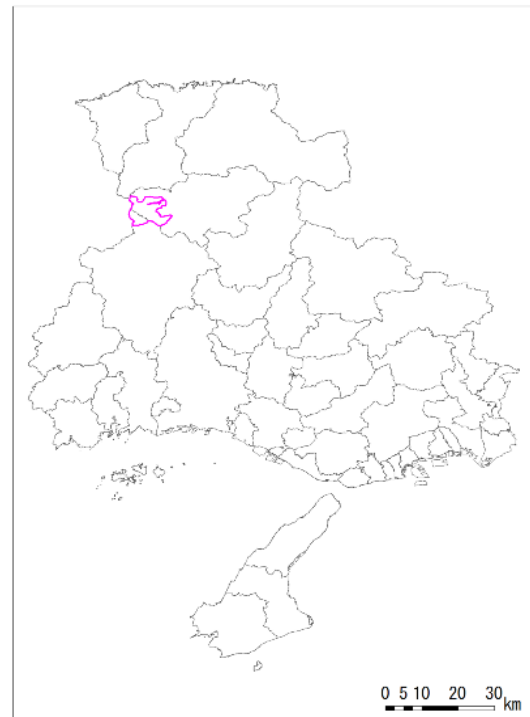
含まれる生態系(生態系区分)
古生沼、古千本湿原(湿地)

市町名
宍粟市・養父市

場所
-

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度

国定公園 県立自然公園
県天然記念物(古生沼)

概要

氷ノ山は兵庫県と鳥取県にまたがる山岳地帯に位置し、兵庫県における最高峰(標高1,510m)となっている。山頂付近にはブナ群落が広がり、岩角地に成立するスギ群落や溪畔に成立するケヤキ林など多様な自然植生が分布している。山頂には古生沼や古千本湿原などの湿地植物群落が成立し、湿性の希少種が多数生育している。

イヌワシ、ブッポウソウ、カヤクグリなど希少な鳥類が生息する他、ツキノワグマも生息する。ブナ林にはオオチャイロハナムグリ、ヒメオオクワガタ、ルリクワガタ、オニクワガタなどの甲虫類やゼフィルス類のチョウなど、多様な昆虫類が生息する。県域では限られたブナ帯の生物の生育・生息場所として重要である。

古生沼、古千本湿原

ヤチスゲ、ツマトリソウ、ヒラサナエなどの湿地性の希少種が多数生育する。近年シカの食害が著しく、地域の活動団体によりシカ柵の設置などの保全活動が行われている。